

平和祈念展

戦後
75年
企画

in 水戸

兵士

臨時召集令状
(いわゆる赤紙)



戦争の時代を
生きた人たちの
労苦を伝える

戦後強制
抑留者

両袖をバンと
交換した
防寒用コート



海外から
の引揚者

亡くなった
赤ん坊のおむつで
作ったワンピース

特別展示

水戸からみる 戦時の世相と 満蒙開拓青少年義勇軍



満蒙開拓青少年義勇軍を募集
するポスター(部分)
友常健一氏所蔵(水戸市立博物館寄託)



挺身隊スタイルの水戸高女生
(水戸市立博物館提供)



満州にわたる記念に、日輪兵舎前で撮影された
満蒙開拓青少年義勇軍
(水戸市内原郷土史義勇軍資料館所蔵)

2020
12/9 水 → **15** 火
9:30-17:00

ザ・ヒロサワ・シティ会館
[茨城県立県民文化センター 茨城県水戸市千波町東久保 697]
県民ギャラリー、一般展示室

主催：平和祈念展示資料館(総務省委託)
共催：水戸市、水戸市教育委員会
後援：茨城県、茨城県教育委員会

**入場
無料**

平和祈念展示資料館では、第二次世界大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について多くの人たちに知ってもらうため、全国各地で展示会を開催しています。

本展では、当資料館の所蔵資料を紹介するとともに、特別展示として、水戸市平和記念館、水戸市立博物館、水戸市内原郷土史義勇軍資料館が所蔵する水戸ゆかりの資料から、くらしが戦争に巻きこまれていきありさまと、満蒙開拓青少年義勇軍として内原から中国大陆に送りだされた10代の若者たちの姿を紹介します。

兵士

国のために家族を残し、危険な戦地に向かい、命をかけて戦務に従事し、大変な労苦を体験された方々です。



小柳次一撮影
《出撃前夜、所持品を整理、両親へ別れの遺書を書く陸軍特攻隊員》

戦後強制抑留者

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられた方々です。



早田貫一画《死体運搬》

海外からの引揚者

敗戦によって外地での生活のよりどころを失い、身に危険が迫る過酷な状況の中をくぐり抜けて、祖国に戻ってこられた方々です。



「拓け満蒙」満州移住協会発行、1938年6月

水戸からみる戦時の世相と

ご来場の際には、皆さまが安全にご覧いただけるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、混雑した場合には入場制限を行うこと、状況により開催中止あるいは期間短縮とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

開催期間中のお問い合わせ

080-3565-7779

(会場事務局 9:30～17:00)

会場にお越しいただけないお客様のために、「平和祈念展 in 水戸」の展示紹介ムービーを、平和祈念展示資料館公式Youtubeチャンネルから配信します。(12月11日から配信予定)

「水戸にゆかりの戦災資料展」

■ お問い合わせ：水戸市文化交流課 Tel.029-291-3846 水戸市三の丸 1-4-19

水戸市立博物館 戦後75年企画 子どもミュージアム

「戦争ってなに?—かなしみと腹ペコの日々—」

令和2年12月5日(土)～3年1月11日(月・祝)

9:30～16:45

戦争時代の様子を、子どもたちに向けて紹介します。

■ お問い合わせ：水戸市立博物館(月曜休館) Tel.029-226-6521 水戸市大町 3-3-20

- ▶ 常磐線「水戸駅」から徒歩約20分、またはバスで「文化センター」または「文化センター前」下車
- ▶ 北関東自動車道「茨城町東 IC」から車で約15分
- ▶ 常磐自動車道「水戸 IC」から車で約30分

平和祈念展示資料館(総務省委託)

入館無料